

チョコ募金「限りなき義理の愛大作戦」 ご協力ありがとうございました！

★★ご報告★★

チョコ売上総数 152 個、60,800 円を

イラクの白血病で苦しむ子どもたちへの医療費支援に充てることができました！

昨年に引き続き、今年も JIM-NET（日本イラク医療支援ネットワーク）のプロジェクト「チョコ募金・限りなき義理の愛大作戦」に多大なご協力をいただき、本当にありがとうございました。

お蔭様で IRT JAPAN としてチョコ 152 個を売上げることができました。これにより 60,800 円をイラクの白血病と闘う子どもたちの医療費として寄付したことになり、これは、152 人の子どもたちの 1 日分の医療費にあたります。

ちなみに JIM-NET 全体では用意した 10 万個のチョコレートを、バレンタインの日を待たずして全て売り切りました。（売ったというより寄付して下さった方にチョコレートをひとつ差し上げるという形でしたが…）10 万人の善意がチョコレートの形をして日本全国各地に散らばっていったと考えると、なんだかとても温かい気持ちになります。

一人ひとりにできることはわずかでも、皆で協力すると大きな力になることを今年も実感することができました。ご協力下さった皆様に、この場を借りて深くお礼申し上げます。

IRT JAPAN 事務局



☆☆缶に絵を描いたサブリーンのこと☆☆

バスラで生まれたサブリーンは、11 歳のときに目のがんになり、2005 年、手術で右目を摘出しました。家が貧しくて病院に通うお金もなく、JIM-NET の支援プロジェクトで 4 年間病院にかよいました。学校に通うこともできなかったサブリーンは、病院の院内学級で、初めて絵を描きました。彼女が描く独特の絵は面白く、募金活動にも使われ、日本にも多くのファンができました。

しかし、彼女のがんは再発、2009 年 8 月には様態が悪化してしまいました。そんなサブリーンを励まそう、何とか生きてほしいと、今回、特別に、サブリーンの描いた絵をデザインした缶入りチョコを作りました。

けれども、皆の願いもむなしく 2009 年 10 月 16 日、出来上がった缶を見ることなくサブリーンは亡くなりました。

「私は死にます。でも幸せです。私の絵を皆さんに見てもらい、多くのイラクの子どもたちが助かることを願っています」サブリーンの最後の言葉でした。



JIM-NET

الشبكة الطبية اليابانية العراقية

JIM-NET (日本イラク医療支援ネットワーク) はイラクの癌や白血病の子どもたちを支援しているネットワークです。